

夏を元気に乗り切るために

ご存知ですか? 「室内熱中症」

ますます日差しが強くなり、ぐんぐん気温が上昇してくるこれからの季節。ぜひご注意いただきたいのが「室内熱中症」です。熱中症というと屋外に目がいきがちですが、実は、室内で発症するケースも少なくありません。節電のためにエアコンの使用を控えたり、温度を高め設定したりしている場合は、とくに十分な「室内熱中症」対策が必要です。



65歳以上の患者の約6割が室内で発症。

体温調節機能が十分に発達していない子どもたちや、温度に対する感覚が弱くなる高齢の方はとくに熱中症にかかりやすく、たとえば65歳以上の熱中症患者の約6割が室内で発症しているというデータもあります。

■ 65歳以上の熱中症発生場所の割合 (n=6,682人)

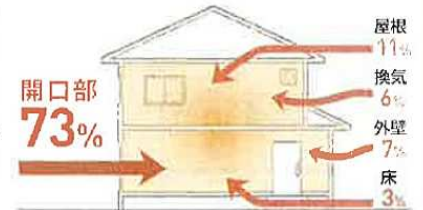


※国立環境研究所「熱中症患者速報 2013年度報告」より

室内に入ってくる熱の7割以上は窓から。

夏、窓などの開口部から侵入してくる熱は家全体の73%。つまり、熱中症にかかりにくい室内環境をつくるためには、窓の日よけ対策が重要なポイントとなります。

■ 熱の流入割合(夏の冷房時)



※(一社)日本建材・住宅設備産業協会 省エネルギー建材普及促進センター「省エネ建材で、快適な家、健康な家」より

窓まわりの日よけで「室内熱中症」対策

LIXILでは、夏の強烈な日差しを遮り、エアコンの効果を高める窓まわりアイテムをご用意しています。あなたとあなたの大切な家族を「室内熱中症」から守るために、ぜひお役立てください。



日本気象協会推進
熱中症ゼロへ
プロジェクト公式アイテム

「スタイルシェード」と「Low-E複層ガラス」は、一般財団法人日本気象協会推進の「熱中症ゼロへ」の公式アイテムに認定されました。



窓の外側で日差しをカット
スタイルシェード



窓ガラスの遮熱性をアップ
Low-E複層ガラス